

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称: ボンHBサーフェーサーR(W)
種類: 合成樹脂エマルジョン塗料
会社名: AGCコーテック株式会社
住所: 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番地
担当部門: CSR室 江澤 孝行
電話番号: 03-5217-5104
FAX番号: 03-5280-0028
緊急連絡電話番号: 03-5217-5104
整理番号: 3020400114206
用途: 建築用、その他

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

健康に対する有害性:
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2

GHSラベル要素:

絵表示シンボル:



注意喚起語: 警告

危険有害性情報:

- 臓器の障害のおそれ

注意書き:

安全対策:

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置:

- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

保管:

- 施錠して保管すること。

廃棄:

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区分: 混合物

化学名または一般名:

化学特性(化学式等):

毒物及び劇物取締法: 該当せず

成分:

成分名	CAS.No.	含有量(%)	安衛法 通知物質	毒劇法	PRTR法
エチレングリコール	107-21-1	<2.0	○	-	
鉱油	非公開/不明	<1.0	-	-	
酸化チタン	13463-67-7	<5.0	○	-	

補足説明:

- 成分情報/安衛法通知物質(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)にて記載されている記号の内容は以下の通りとなります。

○: 既存

R3: R6年4月1日以降(施行)

R4: R7年4月1日以降(施行予定)

R5: R8年4月1日以降(施行予定)

- ・成分情報/PRTR法にて末尾に(O)が記載されている番号は2023年4月1日より対象外物質となった旧種類と旧政令番号を表示しています。

4. 応急措置

吸入した場合:

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合:

- ・ 付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。
- ・ 溶剤、シンナーを使用してはならない。
- ・ 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- ・ 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合:

- ・ 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。
- ・ 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

- ・ 嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・ 医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。
- ・ 負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護:

- ・ 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
- ・ 適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項

- ・ 緊急の特別処置などを講ずる。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 周辺設備に適した消火剤を使用する。この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤: 情報なし

特有な消化方法:

- ・ 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

- ・ 適切な保護具を着用する。
- ・ 作業の際は適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・ 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項:

- ・ 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
- ・ 河川への排出等により、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法/機材:

- ・ 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。
- ・ 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

二次災害の防止策

- ・ 回収物の廃棄方法については、専門家の指示を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

技術的対策:

(取扱者の暴露防止)

- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項:

- ・ 屋外又は換気の良い場所でだけで使用すること。

接触回避データなし

衛生対策:

- ・ 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管:

安全な保管条件:

- ・ 換気の良い場所で保管すること。
- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 施錠して保管すること。

(避けるべき保管条件)

- ・ 日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度/許容濃度:

化学物質名	日本産業衛生学会 ppm	日本産業衛生学会 mg/m ³	skin
酸化チタン	-	1.5 (吸入性粉塵) 2 (総粉塵)	-
化学物質名	ACGIH_TWA ppm	ACGIH_TWA mg/m ³	skin
エチレングリコール	25	-	-
酸化チタン	-	2.5	-
化学物質名	STEL_TWA ppm	STEL_TWA mg/m ³	skin
エチレングリコール	50	10	-

保護具:

呼吸用保護具:

- ・ 呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具:

- ・ 保護手袋を着用する。

眼の保護具:

- ・ 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具:

- ・ 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 白色
臭い	: 僅かアクリル臭
融点/凝固点	: 情報を有していない
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 情報を有していない
可燃性	: 情報を有していない
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界	: 情報を有していない
引火点	: 情報を有していない
自然発火点	: 情報を有していない
分解温度	: 情報を有していない
pH	: 7.5~9.5
動粘性率	: 情報を有していない
溶解性	: 情報を有していない
n-オクタノール/水分配係数	: 情報を有していない
蒸気圧	: 情報を有していない
密度及び/又は相対密度	: 1.5~1.6
相対ガス密度	: 情報を有していない
粒子特性	: 情報を有していない

10. 安定性及び反応性

反応性:

データなし

化学的安定性:
・安定である
危険有害反応可能性:
データなし
避けるべき条件:
データなし
混触危険物質:
データなし
危険有害な分解性生成成分:
データなし

11. 有害性情報

急性毒性:

エチレングリコール

LD50	(経口)	ラット	=6140 mg/kg
LC50	(ミスト)	ラット	=2.7 mg/L(4h)

酸化チタン

LD50	(経口)	ラット	>5,000 mg/kg
LD50	(経皮)	ハムスター	>10,000 mg/kg
LC50	(粉体)	ラット	>5.09 mg/L

皮膚腐食性/刺激性:

エチレングリコール

ヒト 刺激性 (SIDS, 2009)

眼に対する重篤な損傷/刺激性:

エチレングリコール

ラビット 軽微な結膜刺激 (CICAD 45, 2002)

呼吸器感作性:

情報なし

皮膚感作性:

情報なし

変異原性(生殖細胞変異原性):

情報なし

発がん性:

酸化チタン

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)

IARC-Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

ACGIH-A3: 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

ACGIH-A4: ヒト発がん性因子として分類できない

エチレングリコール

生殖毒性:

情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露):

エチレングリコール

区分1	(中枢神経系、血液系、腎臓)
区分3	(気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):

情報なし

誤えん有害性:

情報なし

12. 環境影響情報

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

水生環境有害性 短期(急性)

エチレングリコール

魚類(ヒメダカ) LC50 > 100mg/L/96hr

酸化チタン

甲殻類(オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr

水生環境有害性 長期(慢性)

エチレングリコール

甲殻類(ニセネコゼミジンコ) MATC = 4.2mg/L/7days

水溶解度

エチレングリコール

100 g/100 ml

酸化チタン

溶けない

残留性・分解性

エチレングリコール

急速分解性あり (BOD分解度=90%/14days)

生態蓄積性

エチレングリコール log Pow=-1.93
土壌中の移動性データ
データなし
オゾン層への有害性データ
データなし
その他情報

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

- ・ 環境への放出を避けること。
- ・ 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
国連番号またはID番号：該当しない
正式輸送名：該当しない
分類または区分：該当しない
容器等級：該当しない
環境有害性
海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

労働安全衛生法：
・ 57条の2通知対象物質
廃棄物の処理及び清掃に関する法律：

16. その他の情報

引用文献：

- ・ Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
- ・ Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN
- ・ Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
- ・ 2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
- ・ 2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)
- ・ <http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
- ・ JIS Z 7253 (2012年)
- ・ JIS Z 7252 (2014年)
- ・ 2017 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
- ・ Supplier's data/information

その他：

- ・ このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としたものです。
- ・ 記載内容は、現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
- ・ このSDSは、法令の改正、新しい知見により、予告なく改訂することがあります。
- ・ このSDSは、国の規制を含む(社)日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませので、当該自治体の規制に従って対処してください。
- ・ PRTR該当物質については、1, 2種は1%以上、特定1種0. 1%以上の場合に対象となります。
- ・ PRTR2種については、国(事業所管轄大臣)への報告は不要です。
- ・ 2項危険有害性の要約のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「区分に該当しない」又は「分類できない」に該当します。